



進級、入園してもうすぐ一か月が経とうとしています。新しい環境にドキドキしつつ、楽しみにしていた内履きを履けることに心躍る様子が伝わってきていました。所持品の整理をすべて自分達で行うことや、内履きの着用の仕方など、新しいことも毎日同じことを繰り返す中で少しずつ身に付いてきています。「できん」と言うこともありますが、「やってみよう」と励まし、方法を知らせながら見守ることでやり遂げると「できた」と嬉しそうな表情を見せてられています。

これからも子どもたちが安心して自信を持って過ごしていただけるように寄り添っていきたいと思います。気になることがあれば、いつでもなんでも聞いてください。保護者の皆様と一緒に子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

☆ 3歳児ってこんな時期 ☆

この時期の子どもたちはますます自我が強くなり、自分で！という意識がより強くなります。また、1人遊びが楽しい時期から、少しずつ友達の輪が広がる一方で、まだまだ自分の思いが強くなってしまうことも…

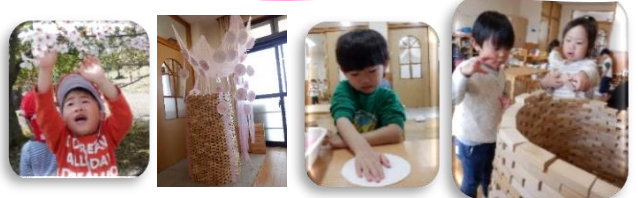
そんな子どもたちの成長を見守る中で、今年1年、すみれ組として

- ・ やってみたい！と挑戦する気持ちを大切に
- ・ 自分で出来た！の喜びが積み重なるように
- ・ 友達と遊ぶ楽しさをたくさん感じられるように

という願いを込めて、やってみたいと思える環境を整え、時には一歩引いて見守ったりしながら、困ったときに手を差し伸べられたらと思います。また友達とぶつかる場面も増えるかと思いますが、思いに寄り添い、自分の思いを伝え、相手の思いを知る経験を積み重ね、相手を思いやる気持ちを育てていきたいと思っています。

運動公園に桜を見に、散歩に行きました。「かわいい〜！」ときれいなピンク色に大喜び。「あそこにもある！」と色々な所にある桜を見つけていました。桜を見た経験から、お部屋にも積み木を使って桜の木を作りました。子どもたちが手を伸ばしてギリギリ届く高さまで、次々と人が集まって協力し、積み上がりました。あとは何がいるかも考え、「桜の花！ピンクと白やったね」と自分たちで考えて意見を出してくれたので、ピンクの絵の具で手形スタンプを押して桜に見立て、満開の花が咲きましたよ。

積み木遊びは指先の器用さや、空間認識力、創造力など様々な力が育ちます。一緒に楽しみながら、子どもたちの育ちを見守っています。



◎ ゲームを楽しんでいます ◎

ゲームで遊ぶのが大好きで、自分達だけでゲームを進められる姿が増えてきました。メモリーカードでは、最後に自分の取ったカードを積み重ねて（「高さ比べ」と呼んでいます）、高い方が勝ち！と勝敗を判断することも出来るようになりました。ゲームを通して数の多い少ないの概念も身に付いていきますよ。

今年の誕生日プレゼントは『魔女はだれといるの？』というゲームです（子どもたちにはナイショでお願いします！）たんぼぼ組の3月末よりこのゲームを楽しんでいます。どのゲームも共通してですが、はじめは子どもたちの発達に合わせてルールを簡単にしています。子どもたちの発達に合わせて、段階を踏んでルールを追加していく予定です！



園庭にこいのぼりがあがり、「こいのぼり！見て！」と興味津々。「赤いこいのぼり笑っとる！」などそれぞれが感じたことを教えてくれました。「大きいのがお父さんで、小さいのが子ども！」と大きさの違いに気付く姿もありましたよ。雨の日には、「こいのぼりなんでおらんの？」「お出掛けしとるんじゃない？」と想像を膨らませる様子もありました。今後も子どもたちの思いに寄り添っていきたいと思います。マンダラ塗り絵でうろこを作り、すみれ組にも大きなこいのぼりが泳いでいますよ！

